

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業)）

分担研究報告書

難治性血管腫・血管奇形・リンパ管腫・リンパ管腫症および関連疾患についての調査研究

血管腫・血管奇形・リンパ管奇形診療ガイドライン2017(第二版)草案におけるクリニカルクエスチョン推奨、総説の査読

田中純子 広島大学大学院医歯薬保健学研究院 教授

研究要旨

血管腫・血管奇形・リンパ管奇形診療ガイドライン2017(第二版)草案におけるクリニカルクエスチョン推奨33問、総説（総論4章、各論7章）について査読を行った。

当該疾患は、希少疾患であり、疫学を論じるだけの報告が見当たらないのが特徴であるが、その中で、多岐診療科に属する臨床医あるいは臨床研究者による貴重な症例報告や詳細な治療成績の長年にわたる積み上げにより、この希少かつ難治性疾患の診療ガイドラインがまとまってきている。

CQに関して11コメント、総論に関して5コメント、各論について2コメント行った。

A．研究目的

血管腫・血管奇形・リンパ管奇形診療ガイドライン2017(第二版)草案におけるクリニカルクエスチョン推奨、総説の査読を行う。

B．研究方法

Clinical Question(CQ)33問、及び総説「総論」4章、総説「各論」7章について査読を行った。

C．研究結果

査読をし、下記の通りコメントした。

1. CQ (全33問)について
CQ13、CQ17、CQ19、CQ22、CQ27についてコメントした。
2. 総説「総論」について
 - 疾患の歴史、病態、分類、所見などが、体系的に説明されています。
 - 重要な分類、診断のフローチャートなどが適切に示されています。
 - 知識のほとんどが、診断、治療方針に影響するものであり、診療ガイドラインに相応しい臨床に即した内容にな

っています。

- 画像、病理の所見の内容は、当該専門医には十分であるが、当該専門知識が乏しい医師には用語、説明の記載がやや難解な内容です。
- 分子生物学に関して、責任遺伝子が多く列挙されていますが、それぞれの責任遺伝子を有する割合や、発症との関連、診断基準に含まれているか、などの情報があればより理解しやすいと考えられますが、難しいでしょうか。

D．研究発表

1. 論文発表
(発表誌名巻号・頁・発行年等も記入)
該当なし
2. 学会発表
該当なし

E．知的所有権の出願・取得状況（予定を含む）

- 1 特許取得
該当なし
- 2 実用新案登録
該当なし
- 3 その他